

2025 年 7 月 26 日 週間祈りカード

△産業宣教/金土日時代のやぐら 26 重職者産業人が見た WRC (申 6:4-9)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 26 レムナントと TCK が見た WRC (詩 78:70-72)	△核心/RT Day 8 月学院福音化
<p>□序論_正確な答え(契約) 私たちがいくら難しい地域にいても正確な契約を握れば、正確な答えを受ける。レムナント7人は絶対不可能とさえ思える中で正確な契約を握った。それなら、いくつかの事を見るべきだ。</p> <p>1. 5つの流れ-私はどこに 神様は今も、みことば成就、祈りの答え、救いの働きを成し遂げておられる。私が住んでいる所の霊的流れを見るべきで、ほかの一つの国の流れを見ることができなければならない。</p> <p>2. 今日の流れ-何を 今日の流れの中に私は何をやるのか。レムナント運動の現場の中に今私が座っているのだ。</p> <p>3. WRC -私の役割 WRC の流れの中で私の役割を見れば、正確な答えを見るようになって、正確な契約を握るようになる。</p> <p>□本論_証拠</p> <p>1. 出エジプト(申 6:4-9) - 7人 出エジプトするとき、最後に与えられたメッセージ。「聞け。イスラエルよ。力と心、精神、すべてを尽くして主を愛しなさい。今までであった事実を子どもたちに教えなさい」完全刻印させなさいということだ。ヨケベデ、モーセ、その兄アロン、イテロ長老、ヨシユア、カレブ、遊女ラハブ。7人が終わらせたのだ。</p> <p>2. ベリシテ(1サム 7:1-15) - 4人 ミツパ運動を行った。「すべてのイスラエルはミツパに集まりなさい。すべての偶像を捨てなさい。主に立ち返りなさい」血のいけにえが鍵だ。4人がベリシテを止めたのだ。ハンナ、サムエル、エツサイ、ダビデ。</p> <p>3. アラム(Ⅱ列 6:8-24) - 3人 アラムの国が続けて攻撃した。戦わずに勝つ作品(ドタンの町運動)をレムナント1人が作った。ここにオバデヤ、エリヤ、エリシャ、この3人が終わらせたのだ。</p> <p>4. バビロン(イザ 62:6-12) - 5人 バビロンに捕虜になって行ったとき、イザヤがレムナントという単語を使った。インマヌエル(福音イザ 7:14)とレムナント運動を話した(イザ 60章)。このみことばをわかった5人が終わらせた。ダニエル、三人の同僚、エステル。</p> <p>5. ローマ(使 17:1, 18:4, 19:8) - <u>□16章</u> パウロは流浪の民時代が来る未来を見通して会堂に行った。祈りと福音、受ける答えが何かを知らせた。ローマ16章の人々がローマ福音化をしたのだ。</p> <p>□結論_決断 彼らが決断したが、働きは神様がなさった。ダニエル、三人の同僚、ヨケベデ、ハンナ、エリシャ、ローマ16章の人々。</p>	<p>□序論_未来 レムナントは力を養う必要がある。</p> <p>1. Power-世の中を生きていくのに必要な力 2. Tacit-目に見えない力 3. Authority-上から与えられる力 4. Heavenly, Thronely, Eternaly Power</p> <p>□本論</p> <p>1. 詩 78:70-72 <u>根本</u> ダビデは幼いときに根本的な力を持っていた。羊飼いであったとき、賛美、詩、祈りで霊的サミットになった。そのとき、羊を守る技術を磨いたが、それによってゴリヤテに勝った。ダビデが投げた石を神様が用いられたのだ。</p> <p>2. 1サム 16:1-13 <u>絶対やぐら</u> 大祭司サムエルがダビデに油を注いで祈った。そのとき、重要なことが伝達されて絶対やぐらを建てた。「この日以来、主の霊が激しく下った」</p> <p>3. 1サム 17:1-47 <u>絶対旅程の始まり</u> ゴリヤテとの出会いは絶対旅程の始まりだった。ほかの人には危機だったがダビデには機会であった。ゴリヤテを殺して全世界に主がまことの神様だということを証明したのだ。</p> <p>□結論 I 歴 29:10-14 生涯祈って神殿を準備した。その前に1千やぐらを建てた。</p>	<p>これからすることを心配するのではなく、300%をすれば良い。</p> <p>□序論_レムナントが必ず覚えるべきこと</p> <p>1. 味わい(Enjoy) - 300% 1) やぐら(7 Bartizan) 2) 旅程(7 Journey) 3) 道しるべ(7 Guidepost) -この三つを祈りで味わっていれば300%となる。 △朝に運動、呼吸とともに、この祈りを細かくしなさい。</p> <p>2. Wait-味わって待つのだ。 1) Throne -Trinity 私たちには Tacit パワー、上から与えられる力(Authority)が必要だ。さらに重要なのが御座の力、三位一体の神様の臨在だ。 2) Kingdom of God -必ず神の国が臨む。 3) Affairs -すると作品が作られる。神の国のことが成し遂げられる。</p> <p>3. Challenge -そして、見えるときに挑戦するのだ。 1) Transcendence -絶対不可能に時空超越の力で挑戦するのだ(祈り、御座の力) 2) 237-5000 と合う挑戦をするのだ。 3) Unprecedented -そのときから、空前絶後の答えが</p> <p>□本論</p> <p>1. Babylon -バビロンへまた、捕虜になって行った。レムナントは計算でなく、神様と契約の関係だ。 1) Dan. 1:8-9 偶像にささげた物は食べないと心を定める 2) Dan. 3:8-24 偶像をおがむことを拒否した三人の青年 3) Dan. 6:10 -22 ダニエルは祈ったために死ぬことになったときも、いつもように祈った。 4) Esth. 4:1-16 王妃になったエステルは「死ななければならないなら死にます」と言って王を訪ねて行った。</p> <p>2. Jew 問題 1) Gospel 福音と原罪を分からなくて自犯罪だけ話した。 2) Fake 福音を分らないから、偽物を選択。三つの祭りも間違えて守る。 3) Church が問題-救われてもユダヤ人の法</p> <p>3. Apostle 問題 1) Acts 1:6-7 神の国について 40 日説明した。「するとそのとき、私たちの国は解放されますか」 2) Acts 11:1-18 コルネリウスを神様のみことば成就、キリストの約束成就として見る事ができなかった。 3) Gal. 2:11-20</p> <p>4. Antioch 1) Acts 11:1-18 2) Acts 11:19-30 3) Start 神様がアンティオキア教会を建てて、パウロを呼んで、宣教が始まったのだ。</p> <p>5. Paul -重要なポイント 1) Acts 9:10 キリストがダマスコでパウロを倒された。近くにアナニアがいたからだ。 2) Acts 9:15 イスラエルと異邦人と王たちの前に立てる器 3) Acts 11:25-26 アンティオキア教会でバルナバに会うようになる。</p> <p>□結論 1. 毎日-私を生かす祈り 2. 毎時間-現場を生かす祈り 3. 毎事件- 300%を作るのだ。</p>
	<p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 26 散らされたレムナントが見る WRC</p> <p>Ex 5:1-12:46 WRC 契約を持っている人が出てくれば、すべての所に暗闇が崩れる Isam 7:1-15 ベリシテが問題なのではない。すべてのイスラエルはミツパに集まりなさい。血のいけにえ、福音回復だ。 2King 6:8-24 ドタンの町運動。WRC は戦わずに勝つ集いだ。皆さんが行く所に天の軍勢を動員される。 Isa62:6-12 散らされた弟子たちを見張り人として立てた。多くのレムナントを立てるのだ。彼らが旗を揚げて、行って刺すように。 Act17:1, 18:4, 19:8 今後この会堂で教えを受けた人々が流浪の民として出て行く。祈りが何かを知って出て行かなければならない。キリストがだれなのかを知って出て行かなければならない。祈りが何か、答えが何かを知って出て行くのだ。</p>	

△区域メッセージ第 30 週/3 部わざわいを止める神様のやぐらを建てなさい わざわいの歴史を止める宣教-過去を生かす歴史の主役(使 1:1, 3, 8)	△聖日 1 部 ダビデが準備した WRC のやぐら (I 歴 29:10-14)	△聖日 2 部 ドタンの町運動の主役 (II 列 6:8-19)
<p>イザ 60:1-2 私たちが行く所に暗闇が崩れるという事実を信じていない。マタ 5:13-16 「あなたがたは世の塩で光だ」この明かりを隠しても良いのかエベ 4:27 「悪魔に機会を与えないようにしなさい」あなたがたの思い煩いをいっさい神にゆだねなさい。敵である悪魔が、吼えたいける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っている。私たちはこの「わざわいを止める者」だ。</p> <p>□序論 ユダヤ人</p> <p>1. 原罪を分からなかった。</p> <p>1) 落とし穴(創 3、6、11 章) -エデンの園事件、ネフィリム、崩れるパベルの塔だ。</p> <p>2) 枠(使 13、16、19 章) -日が進むにつれ、わざわいが来て暗闇が襲うとシャーマン、占い、偶像崇拜をする所に行き、それが枠になったのだ。</p> <p>3) 畏(6 つ) -畏に縛られて悪魔が言うとおりにしなければならぬ。ますます霊的問題、からだ病気がなり、生きるのが地獄で、このすべてが次世代に伝えられる。</p> <p>2. 救い</p> <p>1) 地獄背景 2) わざわい 3) サタンから解放されること</p> <p>3. 霊的事実を全く分からなかった。</p> <p>1) サタンのやぐらが建った 2) サタンの要塞ができた</p> <p>3) ヨハ 16:11-14、II コリ 4:4-5 サタンが支配者となり、世の神だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 捨てること</p> <p>1) 山上垂訓-山の上で教えられたみことばだ。祈り、信仰生活、礼拝を教えられた。</p> <p>2) ビリポ・カイサリア-人々はわたしのことをだれと言うのか。エリヤ、バプテスマのヨハネ、エレミヤ、預言者のようだという。それを捨てなければならない。</p> <p>3) 変貌山-変貌山に行ったところ、また、モーセとエリヤとキリストのために幕屋を建てると言ったのだ。エリヤも、モーセも来られるキリストを信じて救われた。</p> <p>助け主-何も思い煩わないで。あなたがたを保護して、恵みを与え、教える助け主聖霊をあなたがたに送る。(ヨハ 14:16、14:26、16:13)</p> <p>2. 建てること</p> <p>1) 神様のやぐら 2) 御座の力で旅程</p> <p>3) 道しるべ-御座の力で記念碑を建てなさい。</p> <p>3. 挑戦すること</p> <p>1) 使 1:14 決断を下してひたすら祈りに専念したが、働きが起こった。</p> <p>2) 使 2:17-18 祈ったが「あなたがたの子どもたちは預言し、若者は幻を見て老人は夢を見る」</p> <p>3) 使 2:42 礼拝だけささげたが働きが起こった。</p> <p>□結論</p> <p>御座-礼拝して、祈るたびに目に見えない御座の力が現れる。</p> <p>神の国-神の国が臨む。</p> <p>神の国のこと-神の国のことが成就する。</p>	<p>□序論 WRC で私が受けるべき祝福、私の役割(分け前)を質問しなさい。</p> <p>1. 神様がダビデに準備させられたこと</p> <p>1) 未来準備(詩 78 篇) -羊飼いの時期</p> <p>2) 契約と力体験-大祭司サムエルに会った時から</p> <p>3) 暗闇を打ち砕く時刻表</p> <p>4) 朝と夜の祈り(詩 5:3、17:3) -苦難を苦難として見ない奥義</p> <p>5) 主は私の羊飼い(詩 23 篇) -大きな苦しみの現場で</p> <p>6) 1 千やぐら 7) 世界を生かす神殿準備</p> <p>2. 私たちの子どもに対する神様の計画が何なのかを先に祈りなさい。</p> <p>3. 300%準備(詩 78:70-72) - WRC の時レムナントに知らせて祈らなければならないこと</p> <p>1) 祈り 100% -賛美するとき、悪霊が逃げ去った、正確な福音とみことばで詩篇の 3 分の 1 を作ったダビデ</p> <p>2) 技能 100% -羊一匹もなくさないほど</p> <p>3) 未来 100% -福音を知って祈るとこのようになる。</p> <p>□本論 基準</p> <p>1. 霊的サミット-世の中に出て行く前に霊的サミットに先になるべき</p> <p>1) サムエルに会って、それ以来、主の霊が激しく下ったダビデ</p> <p>2) 賛美するのに悪霊が離れるほど霊的サミットになったダビデ</p> <p>3) 世の中に出て行く前に霊的サミットになったレムナント</p> <p>(1) ヨセフ-主の霊が宿る人</p> <p>(2) サムエル-サムエルのことばを一つも地に落とされなかった。</p> <p>(3) ダビデ-霊性と知性、信仰と技能を準備</p> <p>(4) エリシャ-私に霊の二倍の分を与えてください。</p> <p>2. 絶対やぐら-教会を通して絶対やぐらを見つけ出さなければならない。</p> <p>1) ダビデを尋ねてきた祭司長サムエル-主のしもべがレムナントを置いて祈ることができるべき。</p> <p>2) ダビデに油を注いで契約の箱と契約、神殿準備を話したサムエル</p> <p>3) 絶対やぐらが建つと絶対力が与えられ始める</p> <p>△レムナントの覚悟-礼拝を通してすべてを解決して、すべてを回復するレムナント</p> <p>サムエルを通して人生のすべての答えを見つけ出したダビデ</p> <p>3. 絶対旅程-世の中に出て行って絶対旅程を歩んだダビデ</p> <p>1) ゴリヤテとの戦い-主を侮辱する世の中を見て、ゴリヤテと戦って勝利したダビデ</p> <p>2) 世の中を生かす 1 千やぐら 3) 世界を生かす神殿準備</p> <p>□結論 壁を超えたダビデ</p> <p>1. 孤独-霊的サミットになったダビデ</p> <p>2. 福音を邪魔する兄たち-私がなぜ理由がないのでしょうか。ゴリヤテを倒したダビデ</p> <p>3. サウル王-主が油注いで立てたしもべだから最後まで保護</p> <p>4. 失敗-神様の前で悔い改め</p> <p>5. アブサロムと臣下、シミイ-アブサロムを殺さないで。シミイも、神様がさせることだ。</p> <p>△神様が願われるレムナントとして育てなければならない。</p>	<p>□序論 霊の流れを知るべき</p> <p>1. サタンの滅亡戦略-偶像崇拜(悪霊の働き)偶像崇拜して与えられる力は悪霊の働きだ。「あなたが神のように、あなたがネフィリムのように。パベルの塔を築いて成功するのだ」うまくいかないと使 13 章シャーマン、16 章占い(お祓い)、19 章偶像を作る。サタンにずっと引きずられて行く。心の病気、精神病、肉体の病気、地獄、子どもに相続される問題が来る。時代ごとにサタンが王の心に入って偶像を作り、おがむようにさせる。</p> <p>2. 出 5:1-12:46 悟った人が用いられた。血のいけにえでエジプトのすべての暗闇文化を崩しなさい。</p> <p>3. 偶像国家になってしまったアハブ王のとき、カルメル山で偽りの預言者を倒した。</p> <p>ホレブ山でエリヤに与えられたみことば-王を変える。7 千弟子、エリシャ</p> <p>I 列 19:19-21 このときすべてを捨ててエリヤについて行ったエリシャ</p> <p>□本論</p> <p>1. 使 19:19-21 天命-ホレブ山で呼ばれる</p> <p>1) I 列 18:1-15 危機の中で重職者オバデヤが預言者 100 人を隠したがこれが時代を変えた。</p> <p>2) I 列 18:25-46 偽り預言者との対決で霊的勝利</p> <p>3) I 列 19:1-21 ホレブ山でエリヤにみことばを与えられた。最も危機の時エリシャと呼ばれた。</p> <p>△レムナントはみことばについて行く勇気が必要。神様の計画なら、いくら不利でも天命になるのだ。</p> <p>2. II 列 2:9-11 召命-自分の立場、自分のポジションを求めなかったエリシャ</p> <p>1) 計算 x 2) ポジション x-ポジションを見たのではない。</p> <p>3) 神様との契約的關係の中に入った。(霊の二倍の分)</p> <p>3. II 列 6:8-24 使命-ドタンの町運動</p> <p>1) あらかじめ答え(8-13)-アラム軍隊をあらかじめ知ったエリシャ</p> <p>2) 背景(14-16) -皆さんが行く所に天の軍勢が保護する。</p> <p>3) 戦わずに勝利(17-23) -エリシャの祈り</p> <p>□結論 力を養いなさい。神様が力を約束された。</p> <p>1. Power 2. Tacit-理解できない力</p> <p>3. Authority-上から与えられる力 4. Heavenly, Thronely, Eternally</p> <p>5. Trinity-三位一体の神様が目に見えないように皆さんとともにおられる。</p> <p>△絶対に揺れてはならない。どんな場合にも落胆してはならない。失敗でも成功でもなく、ただ世界福音化の目的を置いて立てられた。神様が世の終わりまでいつもともにいると約束された。目に見えないように、聖霊で動かされる。皆さんがいる所に天の軍勢を動員される。</p>